

## 第2回国立市中小企業等振興会議 要点記録

◇ 日時：平成22年8月20日（金） 午後1時30分～3時30分

◇ 会場：市役所第1会議室

◇ 出席者：

- ・ 国立市中小企業等振興会議委員 13名
- ・ 事務局 3名
- ・ 傍聴 4名

◇ 配布資料

① 次第

② 資料No.1 第1回国立市中小企業等振興会議会議録

③ 資料No.2 第4回小委員会会議録（商業関係・ものづくり関係）

④ 資料No.3 国立市第四期基本構想第2次基本計画素案

⑤ 資料No.4 チラシ「産業サポートスクエア・TAMA」

⑥ 資料No.5 中小企業憲章

⑦ 追加資料 国立市第四期基本構想第2次基本計画商工会案

（施策16いきいきとした産業あるまち）

◇ 要点記録

- ・ 会長挨拶
- ・ 配布資料の確認（事務局）
- ・ 小委員会の報告
  - 商業関係小委員会
  - ものづくり関係小委員会

### 議題

委員： 8月3日の商業関係小委員会からの報告として、来年度の施策について

- ・ 商店街の活性化
- ・ アドバイザーを呼んでの空き店舗対策
- ・ 観光マップの作成
- ・ 買い物難民対策

などが重要事項として挙げられた。

### 観光マップについて

委員： 観光マップについて何を背景に予算を作るのか。

事務局： 他市の物を参考にして予算を作る。

委員： 観光まちづくり協会でも防災マップなどと一緒に観光マップの作成しようとしているが、市の物と二重になってしまう。

会長： 観光まちづくり協会と協働で作成できないか。

事務局： そのつもりである。

会長： 観光のみに特化したものを作成するのか、産業の観点で市民生活に必要な情報を集約した物を作成するのか、どちらか。

事務局： 市民生活に必要なことを集約した物を作成する予定である。

#### 買い物難民について

会長： 買い物難民の対策としては、行政の施策としてやるのか、民間主導なのか、或いは官民両方でやるべきなのか。

委員： 産業としての観点もあるが、高齢者福祉としての観点も出てくる。福祉の担当と一緒にやるべきだと思い、事務局から話をしてもらおうとのことだったが。

事務局： もう少し時間をいただきたい。

委員： 庁議などでもお話いただくと良い。

委員： 話は変わるが、前回のものづくり小委員会でもお話ししたが、地場野菜を市内のレストラン等でも出してもらえるように、この会議が中心となって生産者と野菜を使う側を引き合わせるような企画が作れたらと思う。

委員： ほうれん草を使ったアイスを作ったことがあるが、ほとんど抹茶と変わらない。他にも地場野菜や果物を使える可能性はあると思う。ブルーベリーを使ったアイスを作ったこともあるが市内でブルーベリー農家がない。

会長： ものづくり小委員会の話が出たので、8月5日の報告をさせていただく。こちらでは、第四期基本構想第2次基本計画の素案を中心に話し合った。施策16いきいきとした産業あるまちについては企業誘致についても話し合った。広い土地に企業を誘致することで農地が減ってしまったりは矛盾することになってしまうので、農産物を加工できるような施設を誘致の分野に追加できないかという案がでた。先ほど出た農産物を作る側と使う側のマッチングについても両者の得意分野を生かすことが大事である。

#### 国立市第四期基本構想第2次基本計画素案について

##### 施策16いきいきとした産業のあるまち

会長： 市は現在この素案についての意見を募集しているが、個人として市に提案しても良いし、話がまとまればこの会議の意見として提出しても良いと思う。

委員： 電信柱が邪魔、価格も高く、イベントなども話題性がない、さらに商店主の笑顔もないような商店街ではしょうがない。

そんな状況にしないためにも、市、商工会、観光まちづくり協会が協力していかなければならない。

## 素案と商工会案を比較

委員： 施策目標に

●市内の既存事業者減少率を抑えます

を追加。

施策の目標を達成するための取組みの（２）中小企業の経営体力の強化 の

○中小企業事業資金融資あっせん制度をさらに PR していきます。

を

○中小企業者の経営安定及び経営環境向上へ向けた施策を進めていきます。

○中小企業で働く従業員の福利厚生事業を実施する国立市勤労市民共済会の事業展開を支援し、人材の確保と従業員の安定した就労の場の確保につなげます。

の２点に変更。

施策の目標を達成するための取組みは（４）までだが、

（５）農・商・工・観との連携

○商品・サービス等のくにたちブランド（くにたち Style）化を図ります。

○商・農・工・観の多様な連携を進めて積極的な地域情報発信を行い地域活性化を図ります。

（６）地域資源を活かした新たな都市観光の推進

○大学通り・一橋大学・谷保天満宮・府中用水など、多様な観光資源を有する当市の特性を活かし、国立市観光まちづくり協会などの関係機関と連携して、都市観光の振興を図ります。

（７）産業を支える多様な人材の育成

○時代を担う若年層はもとより、企業 OB 等の人材を積極的に誘導し、産業を支援するための人材育成の仕組みづくりを構築します。

の（５）から（７）を追加。

施策の目標を達成するための基本事業 として

◇企業誘致促進事業

◇空き店舗活用事業

とあるが、上記２つの基本事業だけでは施策目標が達成されるとは考えにくく、他の事業を掲載するひつようがある。

例えばとして以下の通り

◇地域ポータルサイト事業

◇地域ブランド事業

◇観光振興事業

◇人材育成事業

◇商店街活性化支援事業

#### ◇ものづくり支援事業

以上が商工会案である。

- 委員： 基本構想の中で商工業のスペシャリストである商工会の意見は是非取り入れてほしい。  
また、若い人の開業により街が活性化するので、支援として融資制度の中に独立開業資金と研究開発資金を作してほしい。
- 委員： 市の基本構想は、かなり抽象的な書き方になっているので、もっと具体策をこの会議で話し合っていたらと思う。
- 委員： 2015年度の数値目標で商業販売額とあるが、商業のみで数値を出してしまうのは広すぎないか。  
もう少し分類したほうが良い。
- 委員： 工業出荷額について2008年度の水準を維持するとある。  
リーマンショックの影響が2009年度で、その前の水準を維持するという意味であろうが、多摩地域の工業に関しては2007、8、9年が最悪であり、2008年はまさに底であったため、この書き方だと工業には全く力を入れないと思われてしまう。
- 委員： 基本構想をもう少し噛み砕いた内容にしてもらえると市の姿勢が見えやすくなるのではないか。
- 委員： 日常的なことで、どのお店が何を売っていて、どのようなサービスを行っているのかわからない。  
市内での消費を増やすためにも分かりやすくする必要がある。
- 会長： 施策16の目標に向けての役割分担のところで、市民の役割ができるだけ市内で購入するよう努める、とあるが、何の魅力があって市内で買い物をするのか考えた方がいい。
- 委員： 市民に対して市内で物を買えと言っているようなものなので、せめて一番上にもってくるのはやめた方がいいと思う。

#### 施策17都市農業の推進

- 委員： 地産地消とは、自分の生活している環境や気候で育った物を消費しようという自然に則した生活という意味である。
- 委員： 都市農業がクローズアップされてきたのは、農地には防災、景観、生物多様性など色々な機能があり、現代社会で失ってきたものが都心にまだ残っていることに気づき始めたからである。  
そのような多様性を守っていくためにも、農業だけでは収入が少ない農家をどのようにしていくのか考えていくべきである。
- 委員： 農、商、工業、観光が産業振興課に全て集中しているのがおかしい。  
やるべきことが多すぎるので、市の組織としてどうなのかと思う。
- 事務局： 2年前に組織改正が行われたが、子ども施策がメインであった。  
産業振興課に関しては市民協同推進課ができたり、地域振興担当が産業振興課になったり、組織の仕組みをかえることで改善した。

会 長： 基本構想の素案に対する意見として、商工会は独自に出すとのことだが、この会議では、意見がまとまるとまではいかなかったなので、個人で出せる方は個人でお願いします。

#### 次回日程

- 11月15日 午前9時30分から産業サポートスクエア・TAMAの視察  
午後1時30分から親会議（視察の時間によって前後する）